



2025年5月27日

各位

会社名 株式会社アストロスケールホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岡田 光信
(コード: 186A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役兼 CFO 松山 宜弘
(TEL. 03-3626-0085)

COSMIC フェーズ 2 の契約完了に関するお知らせ

当社の英国連結子会社である Astroscale Ltd が、英国宇宙庁 (UKSA) との間で進めてまいりました、COSMIC フェーズ 2 の最終審査を完了したことをお知らせいたします。変更契約を含む契約金額は 2.02 百万英ポンド (税抜、3.9 億円※1) です。本日、契約完了に関する通知を受領し、本契約を無事完了するに至りました。なお、2024 年 9 月 11 日付「[COSMIC フェーズ 2 の契約獲得に関するお知らせ](#)」において、当初契約金額は 1.95 百万英ポンド (税抜、3.6 億円※2)、当初契約期間は 2025 年 3 月末までと公表しておりました。

COSMIC (Cleaning Outer Space Mission through Innovative Capture) は、低軌道上に存在する運用を終了した英国の衛星を少なくとも 2 機除去する英国のデブリ除去プログラムです。次の段階として、近い将来競争入札が予定されており、Astroscale Ltd も参加します。当社グループでは、今後継続的に既存デブリの除去サービスを提供するために、COSMIC を戦略的に重要なプロジェクトと位置付けております。

1. COSMIC フェーズ 2 の概要

Astroscale Ltd は、少なくとも 2 機の活動停止中の英国由来の衛星を軌道上から安全に除去する技術を開発しており、安全で持続可能な宇宙の実現に向けて着実に進捗しております。

COSMIC フェーズ 2 は、今後のミッションのための主要技術の成熟とリスク軽減に重点を置き、Astroscale Ltd は主要領域においてパートナーと大きな進展を遂げました。COSMIC フェーズ 2 が達成した主なマイルストーンは以下の通りです。

- 安全かつ制御して軌道上の物体を除去するためのロボットアーム捕獲システムを技術的かつプログラムによって成熟させました。
- ドイツ航空宇宙センター (DLR) での試験により、捕獲前にデブリの姿勢を安定させるために衛星のスラスターをデブリに噴射する最先端の技術を実証。
(デブリが宇宙空間で回転している場合、COSMIC サービサーのスラスターを利用した新しい手法として、回転速度を低減し、安全かつ確実にデブリを捕獲します。)
- 燃料補給技術を技術的かつプログラムによって成熟させ、コンポーネントの有効性を確認しました。
- 複数の機器適格性評価 (Equipment Qualification Status Review, EQSR) を行い、それぞれの部品が安全性の高いデブリ除去に必要な基準を満たしているかを評価しました。

COSMIC フェーズ 2 には、UKSA が Astroscale Ltd に依頼した変更内容も含まれており、COSMIC サービサーに様々な宇宙領域認識 (SDA) ペイロードを搭載することの実現可能性を検討し、既存の設計と運用計画の中でこれを行うことの潜在的な有効性を把握しました。

さらに、Astroscale Ltd は、既存デブリの除去の本格的な運用に向けた基礎固めとして、法規制面、プログラムスケジュールの精緻化、ミッションコストの最適化に関する取り組みを推進しました。

2. 今後の見通し

本契約の完了は、2025 年 4 月期通期の連結業績予想の前提に含めております。

- (※1) 2025年5月26日現在における為替レート（1英ポンド=193.48円）により換算。
(※2) 2024年9月10日現在における為替レート（1英ポンド=187.52円）により換算。

以上